

【ポスター発表】

NIMBY に関する福祉倫理学的一考察と社会福祉士の役割について

○ 徳島文理大学 宮原和沙 (5100)

キーワード：自己決定，生命，選択

1. 研究目的

Not In My Back（以下、「NIMBY」と記す。）とは、「そのものの必要性は認めるが、私の家の近くには止めて」というもので、例えば、2019年2月、A県B市において、「看取りの家」が計画されていることに対し、地域住民が反対している等という報道がされた¹⁾。

また、この「看取りの家」に限らず、火葬場、墓地、食肉処理場、焼却炉、ラブホテル、精神科病院、空港、原子力発電所、軍事施設等の建設に対して、「それらが必要なことは分かるが、私の家の側には作らないで」という理由から、反対運動等を起こされる事態が発生する。

そこで、地域で生活する住民一人ひとりの福祉を考える上で、この課題は見逃すことができないものであり、NIMBY に関する福祉倫理学的一考察を行い、更には社会福祉士の役割についても探り、地域住民一人ひとりが安心安全の生活を送る地域社会の実現を目指すことを目的としている。

2. 研究の視点および方法

NIMBY に関する文献や論文は既にいくつか発表されており、今回（2019年3月1日現在）、学術データベース「CiNii」を利用して検索した結果は次の通りであった。NIMBY の検索結果は163件、NIMBY 社会は57件、NIMBY 経済は27件、NIMBY 文化は9件、NIMBY 福祉は2件、NIMBY 哲学は3件、NIMBY 倫理学は4件、NIMBY 福祉倫理学は該当する文献はなかった。この検索結果により、社会福祉学の領域から NIMBY に関する論文は2件であり、福祉倫理学についてはなしであることが分かったことで、NIMBY に関する福祉倫理学的一考察を行い、更には社会福祉士の役割についても探る意義があることは明らかである。そのため、NIMBY に関するような社会福祉学の領域の邦文文献をはじめ、経済学や社会学等の領域からの諸文献に目を通し、そこから教示等を取り入れ、これらを用いて論を構築することを目指した。更に、そこにおける社会福祉士の役割についても探った。このようなことから、本研究は文献研究である。

3. 倫理的配慮

本研究は、NIMBY に関する一方的な論の主張等を奨励するものではなく、誤解を招く表現がないように細心の注意を払った。

また、一般社団法人日本社会福祉学会の『研究倫理指針』に規定された指針を準拠している。

4. 研究結果

福祉倫理的観点から、人間としての尊厳や基本的人権は最大限に保障されなければならない。更に、宮川俊行氏はトマス主義福祉倫理学の立場から自己決定の権利が意味をもつ条件として、当人の問題や状況の理解能力、及び当人の決定能力が必要であること、かつ、自然法の要求と矛盾していない選択であること等を述べている²⁾。これらのことを前提に看取りの家をはじめ、火葬場、墓地、食肉処理場、焼却炉、ラブホテル、精神科病院、空港、原子力発電所、軍事施設等が建設されることによる地域住民が背負うリスク、そのリスクへの保障等、きちんと議論され、結論を出すことである。

また、社会福祉士は、社会福祉士の「倫理綱領」および「行動規範」に基づき、NIMBYに関する課題に対して、客観的中立的な立場での関わるのが、その一つの役割である。

5. 考察

福祉倫理的観点から、NIMBYに関する課題に対して、社会福祉士として人間の尊厳や基本的人権が保障されることを大前提とし、それらの制度構築等に関わり、その運営・評価・再構築するシステム作り等に関与していくことも必要であると考ええる。

また、グローバルな視点ももちつつ、一人ひとりが人間の尊厳を尊重され、基本的人権が保障され、自分らしさを大切に生活できる社会になるように年齢に応じて NIMBY に関する教育がされることも一つの方法であると考ええる。

注

- 1) 神戸新聞（日刊）『「看取りの家」住民反対「死を日常的に見たくない」』，2019年2月22日，p.29.
- 2) 宮川俊行「自己決定権『補完性原理』：『選択の自由』の福祉倫理的考察」，『純心現代福祉研究』4，p49.

文献

- ・佐々木奈央，沼田宗純，目黒公郎「福祉施設の立地状況が地域の災害時要援護者支援に与える影響の調査」，『生産研究』67巻4号，東京大学生産技術研究所，2015年，pp.305-310.
- ・宮川俊行「自己決定権『補完性原理』：『選択の自由』の福祉倫理的考察」，『純心現代福祉研究』4，長崎純心大学・長崎純心大学短期大学部，1999年，pp41-58.
- ・宮川俊行『「隣人愛」を巡って：トマス社会福祉倫理的考察（上）』，『カトリック社会福祉研究』第8号，長崎純心大学カトリック社会福祉研究所，2008年，pp.1-24.
- ・吉永明弘『「NIMBYのどこが悪いのか」をめぐる議論の応酬』，『公共研究』第11巻第1号，千葉大学公共学会，2015年，pp.161-200.
- ・吉永明弘「太陽光発電施設の問題を環境倫理学から読み解く」，『地域生活研究』第7号，富山大学地域生活学研究会，pp.77-83.